

# 「おいひめ」イラストをご利用下さい！！



## ◆織姫イラストについて

町祭「織姫夏ものがたり」のシンボルキャラクターで、平成26年春にオープン予定の「道の駅 織姫の里なかのと」のマスコットキャラクターでもある「おりひめ」のイラストが、このほど完成しました。このイラストは、古くは能登上布に始まり、現在でも町の基幹産業である「織物」を、広く町内外にPRするとともに、「なかのとブランド」の確立を目指すため、古くより伝わる「織姫伝説」にちなみ制作したものです。

先に完成した町の木（さくら）、鳥（うぐいす）、花（石動山ゆり）のイラストと同じく、かわいく親しみやすいキャラクターとなっています。町のイメージキャラクターの1つとして広くご活用下さい。

## ◆織姫伝説とは

能登部下区にある能登比咩神社（のとひめじんじゃ）の社伝に、二人の祭神（織姫）が登場し、次のとおり紹介されています。

### 【能登比咩神（のとひめのかみ）】

大己貴命（大国主命）が少彦名命とともに越（こし）の国を平定した後、一人の機織り乙女に接待されます。その乙女が能登比咩神であり、能登上布などの麻織物、能登縮（ちぢみ）の製法を教えた織物の神様とされています。ある時、能登比咩神が賊徒に襲われ、投げつけた機具が富来の海まで飛び、たちまち機具に似た巨岩になったと言われ、このことから「機具岩（はたごいわ）」の名がついたと言われています。

### 【沼名木入比賣命（ぬなきいりひめのみこと）】

崇神（すじん）天皇の時代、能登の臣の祖と言われる大入杵命（おおいりきのみこと＝小田中親王塚に葬られ、崇神天皇の皇子といわれる）が、妹の沼名木入比賣命を誘いご臨幸されました。沼名木入比賣命は能登比咩神の遺業を再興し、能登上布などの機織りを里人に教え、広めたと言われています。

## ◆イラスト各種

### (1) イメージ・イラスト



(2) ロゴ入りイラスト



(3) ロゴ入り顔イラスト



NAKANOTO \* ありひめ

※イラストは原則自由に使用できますが、別添使用規定に定める禁止事項に該当する場合には、使用できないことや町の許可が必要となることもあります。イラストを使用される場合は必ず使用規定をお読みください。

また、添付ファイルは誰でも使えるようJPG形式にしてあります。もし大きく引き伸ばしたり、繊細な色合いまで必要な場合は企画課までご相談ください。

【イラストご利用に関する問い合わせ】

中能登町役場企画課（TEL 0767-74-2806）までお問い合わせください。